

修了生の活躍事例

能開大での経験が今の自分の礎と なっています。

昔から機械に興味があり、ものづくりについて学べる大学に進学したいと考えていました。いくつかの進学先を比較し実践的な技術を習得できるという事が決め手になり、能開大の生産技術科（専門課程）に入学。2年後には更に深く専門性を勉強したいと思い生産機械システム技術科（応用課程）に進学しました。

在学中は設計から加工、制御まで一連のものづくりの流れを学ぶ事ができ、様々な経験と知識・技術を身に付けました。

九州能開大に入校し、自分の強みを見つけられたことで、今の仕事に出会えることができました。

ダイハツ九州株式会社
生産技術部 塗装組立生技室

前原 雅彦 さん

九州職業能力開発大学校

応用課程

生産機械システム技術科

令和2年度 修了



実習の成果を活かして種競技会に出場！

学生時代は、小型船舶の船底点検ロボットを開発しました。製作に当たっては、船のオーナーへのヒアリングや現状の船底点検手法の調査に始まり、どのようなロボットが役に立つのかを検討し作り上げました。議論が熱くなると、前へ進まないことも多かったですが、オーナーからの評価を得られたときは、非常にうれしく、大きな自信となりました。



小型船舶の船底点検用
海中ロボット

“生産技術者として様々なことにチャレンジできる”人材を目指します。

入社後、新型車の生産準備対応として工程計画業務に携わり、設備導入を実施。4年目となる今年からは新型車両の同期設計業務を推進中。電動化だけでなく安全性向上等、進化し続ける車について勉強するのが大変ですが、安心安全でお客様に喜ばれる、車造りの第一人者を目指し頑張っています。

その中でも、工程計画業務で不可欠な設計/機械加工や制御といった技術については、能開大で学んだことが今でも生きており、自分の強み/自信となっています。本当にお世話になりました。

就職先企業での活躍

前原 雅彦さんの業務

主に組立工場での新型車の生産準備業務を担当。設計担当者と調整し、図面品質を造り込む同期設計への参画や生産設備導入/工程整備などの業務があり安心・安全で高品質な車両を生産するために、日々業務に励んでいます。

部品の組付検討を行う前原さん▶



上司からの声 生産技術部 飯干 秀俊 様

九州職業能力開発大学校で実践的なスキルを学んでいるため、仕事の理解も早く活躍してくれています。どの様な業務にも意欲的に取り組んでおり、今後も車を生産する上で必要とされる高度なスキルや新技術を習得し、グループリーダーとして活躍してくれることを期待しています。



ダイハツ九州株式会社（大分県中津市）現在 九州職業能力開発大学校の修了生3名が活躍

ダイハツ九州は全国でも珍しい、車両を製造する工場と設計や調達などを行う本社機能を一か所に兼ね備えた完成車メーカーです。

私たちは1960年代からトラックなどの軽商用車や、皆さんが普段目にしてる軽乗用車を製造しています。あまり知られてはいませんが、現在ではダイハツグループの約80%の「軽」がメイドイン大分なのです！

（製品例）

ハイゼットトラック、ムーヴキャンバス、福祉車両など

